

「就職内定率」の背景にある地域性と各エリアの産業構造、地場産業に視線

文部科学省は2月28日、「令和7年3月高等学校卒業予定者の就職状況（令和6年12月末現在）」を公表した。令和7年3月に高校を卒業予定で就職を希望する者の就職環境は、令和6年3月高校新卒者と同様に、極めて良好だったことがうかがえる結果となった。「18歳人口の激減」「加速化する少子化」を背景に新規高校卒業予定者を取り巻く「超・売り手市場」はどのようになっているのか。令和7年3月高校新規卒業予定者の就職環境を概観する。

令和6年12月末現在 就職内定率は91.3%に上昇

文部科学省は2月28日、「令和7年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況（令和6年12月末現在）」に関する調査の結果を公表した。発表によると、令和7年3月の卒業予定者93万8,707人（対前年同月比1.1%増）のうち、就職希望者は12万8,145人（同0.8%減）。うち就職内定者は11万7,001人（同0.6%減）で、就職内定率は91.3%（同0.2%増）だった。都道府県別で就職内定率が最も高かったのは「富山県」で、97.0%（就職希望者1,413人中就職内定者1,371人）だった。以下、96.7%（就職希望者3,340人中就職内定者3,230人）の「福島県」、95.8%（就職希望者2,970人中就職内定者2,845人）の「岐阜県」、95.6%（就職希望者1,217人中就職内定者1,164人）の「福井県」と続いた。

一方、母数となる就職希望者の絶対数を考慮する必要があるものの、就職内定率が最も低かったのは「沖縄県」で71.1%（就職希望者2,024人中就職内定者1,439人）。これに、「神奈川県」が83.5%（就職希望者3,689人中就職内定者3,081人）、「東京都」

が84.0%（就職希望者3,666人中就職内定者3,078人）、さらに「千葉県」85.9%（就職希望者4,216人中就職内定者3,621人）、「大阪府」86.2%（就職希望者5,094人中就職内定者4,390人）と、後を追った。意外に思われることが多いが、例年、「就職内定率」が下位に沈むのは、沖縄県と共に、千葉・東京・神奈川・大阪といったいわゆる都市部の都道府県で、これは今次の調査結果についても同様だった。

堅調な中部・北陸地域 就職内定率の数字の向こう側

就職内定率が高かった「富山県」は、「福井県」「石川県」と共に、「北陸工業地域」を形成することで知られている。北陸は、列島のほぼ中央に位置するため物流において有利とされ、豊富な電力と工業用水などを背景に発展。日本の産業社会の各分野を代表するいわゆるリーディング・カンパニーが集積しているため多彩な仕事と業務があり、それゆえ高校新卒就職希望者の大きな受け皿となっている。また、富山県においては、広く知られる「14歳の挑戦」（中学2年生「義務教育学校8年生を含む」）が5日間、学校外での職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加することにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く

力を身につけることを趣旨とする取り組みをはじめ、伝統的産業である配置薬業界への人材供給など、地域の人材は地域で育てるという構えや産業教育政策などが、高校生における就職希望者の内定率を早期から高めているということが言えそう。

一方、日本で唯一の島嶼県である沖縄県の産業の特徴として上げることができるのが、観光業が盛んな反面、海外・県外や県内離島との間の物流により多くの時間的・経済的コストが生じてしまう点だろう。物流の「2024年問題」が取り沙汰される昨今、沖縄県では県内企業が抱える物流の諸課題に対応し、県内企業の「稼ぐ力」の向上支援と産業振興推進を図っている。

また、沖縄県の高校新卒者を取り巻く雇用情勢として、実は「求人倍率」自体は上昇基調にあることは知っておきたい。

これは、別の資料だが、厚生労働省沖縄労働局が昨年5月31日に発表した「新規学卒者の求人・求職・就職内定状況（令和6年3月末現在）」によると、高校新卒者に対する求人倍率（各年3月末現在）は表1に掲げる通りで、上昇傾向にあることが読み取れるだろう。この結果から、新規高校卒業予定者を求めている沖縄県内の企業は少なくないということが分かる。その意味で、就職を希望する高校生と企業の出合いの

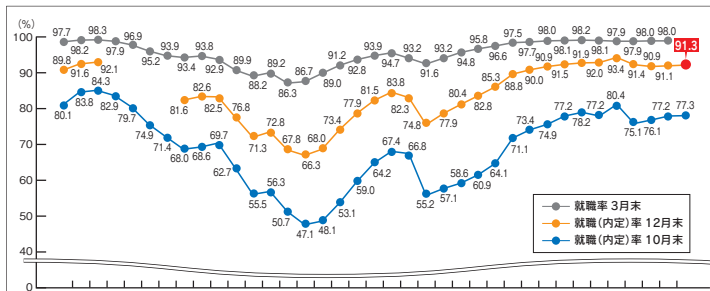


場をよりシステムチックに数多く創出することが就職内定率を高めていくカギの一つとなりそう。

話題を再び文科省データに戻そう。神奈川県と東京都の産業の特徴については、いずれも首都圏であり、産業構造が卸売業・小売業、不動産業、情報通信業などの第三次産業の占める割合が高いことが挙げられる。アルバイトやパートタイマーの募集も多く、実際に多くの高校生・大学生や外国人材が就業している。そのようにさまざまな状況がクロスする中で、非正規雇用（フリーター）になること、また継続してその状況であり続けることへの抵抗感が小さいのではないかと指摘は、かねてなされている通りで、このあたりも改めて考える必要が少なからずあるだろう。

他方、東京一極集中と言われる労働市場の在り方が、高校新卒就職希望者などの就業意識に影響を与えている可能性があるとの見立てもあるようだ。就職内定率を一面的に取り上げて、その数字の大小や優劣を語ることに意味がない。地域性や各県の産業構造、また地場産業等に起因する要因にあらためて目を向ける必要があるだろう。

■新規高等学校卒業（予定）者の就職（内定）状況



*1 平成22年度卒業者の平成23年3月末現在の就職状況については、東日本大震災の影響により調査が困難とする岩手県の5校および福島県の5校は、調査から除外。
*2 平成33年度から平成6年度の4年間は、都道府県等の事務負担軽減を図るため年3回の調査を年2回として実施。
*3 令和2年度調査については、新型コロナウイルス感染症の影響により選考開始日等を1か月後倒したため、11月末現在と1月末現在の数値となっている。（資料：文部科学省「令和7年3月高等学校卒業予定者の就職状況（令和6年12月末現在）」）

■表1 沖縄県の高校新卒者に対する求人倍率（各年3月末現在）

平成30年 3月卒	平成31年 3月卒	令和2年 3月卒	令和3年 3月卒	令和4年 3月卒	令和5年 3月卒	令和6年 3月卒
1.61倍	1.65倍	1.84倍	1.67倍	1.75倍	2.11倍	2.11倍

（資料：厚生労働省沖縄労働局「新規学卒者の求人・求職・就職内定状況（令和6年3月末現在）」）

『高校新卒採用パーフェクトBOOK』

高校と企業を結ぶ「高企連携」を推進！成長の秘訣は高校新卒者の活躍！！

「高校をどのように訪問すれば……？」「採用ルールが分からない……」
「ノウハウがない」「高校生や先生方に自社を認知されたい」…… etc.

高卒採用
好評既刊
A to Z

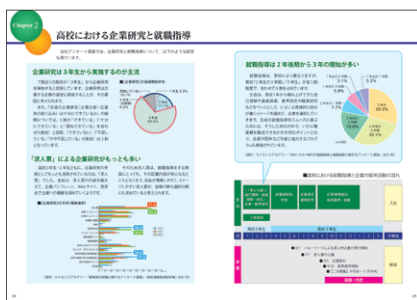
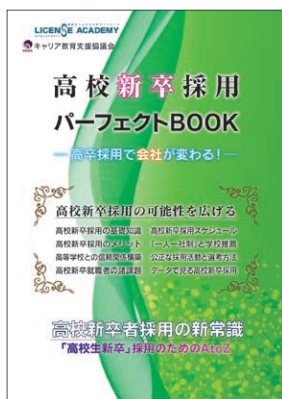
キャリア教育支援協議会
にすべてお任せください！

高等学校と信頼関係を築いてきたキャリア教育支援協議会では、企業の採用活動を全力でサポートしています。『高校新卒採用パーフェクトBOOK』は、大学新卒者採用に比べて分かりにくいとされる高校新卒者採用に関するノウハウとルールのすべてが凝縮された一冊です。



キャリア教育支援協議会

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24(株式会社ライセンスアカデミー内)
TEL 03-5925-1659 e-mail info@s-kyogikai.com
URL https://s-kyogikai.com



高校新卒採用
パーフェクト
BOOK
*ウェブサイトから必要事項を入力して
送信することでダウンロードができます
*編集内容・誌面デザイン等は予告なく
変更・更新される場合があります

北海道

地域連携による教育体制

北海道中小企業団体中央会

中小企業の景況天気

北海道

栗山高等学校

地域と学校が共働で福祉の学びを展開「栗山と福祉」を通して人として成長

地域教育力という大きな教育資源を持つ栗山町と連携して、教育活動の確立に向けて一体的に取り組んでいる北海道栗山高等学校（北海道夕張郡栗山町、坂上大介校長）。普通科を展開する一方、同町の教育的な強みとも言える「福祉」を学ぶことのできる教育体制に注目が集まっている。

●地域と共に福祉のスキルを磨く

栗山高校が門を構える栗山町では、地域全体で「福祉のまちづくり」が進められている。普通科である同校でも、学校設定科目「栗山と福祉」を設置し、福祉に興味・関心がある生徒を道内・外から集めるなどしている。

「栗山と福祉」では、地域を知り、その町で「福祉」を柱として学ぶ中で、手助けが必要な人々について学習していく。知識や技術を習得すると共に自分が社会の一員としてどのような形で貢献していくのかを、3年間を通して段階的に学ぶ体制が整備されているため、福祉についてイチから学ぶことが可能だ。

1年次では、福祉系分野の大学訪問やパラスポーツ体験をはじめ、車イス実習や盲導犬協会の講話の受講などを実施し、福祉分野に

ついてさまざまな視点からふれ、学んでいく。

2年次では、福祉の魅力として、介護技術実習や認知症 VR 体験、施設見学、模擬訓練など、より実践的な学びが展開される。1年次、2年次の学びを受けた3年次では、高齢者プレゼント制作やレクリエーションなどが行われ、福祉の実践者としての学びを深める。

「栗山と福祉」をはじめ、「総合的な探究の時間」、または体育、家庭科、数学などの教科とも連携しながら「学習・体験」「振り返り」「スライド作成・発表」「反省」を繰り返して自分探しを行うのが同校の教育体制の特徴だ。また、進路行事としては職業ガイダンスやインターンシップ、大学見学、進路相談会などを実施。これらの機会を通して、職業観の育成や自己の希望進路

実現へと向かえるように支援していくという。

●1年間の学びをまとめた発表会

年度末直前の2月20日には、1年次が令和6年度の「栗山と福祉」での1年間の学びの総括と栗山公園のバリアフリー化に関する発表会を実施した。栗山町議会や町役場などからも参加者があった。全10班がそれぞれ作成したスライドには、著作権フリー素材のイラストが多めのものや写真を交えたものがあり、どちらのタイプが見やすく、分かりやすいかという点でも発表会は行われた。

栗山公園の問題点として、歩道に段差や凸凹が多かったり、木々の枝が歩道に飛び出していたりして、子どもや高齢者、障害者の人々に危険がおよぶことが判明したと発表。生徒たちは、バリアフリー化には道の舗装をはじめ、公園の利用者が過ごしやすい空間を同じ立場になって考えることが大切であると論を展開した。

特に、事前に校内で実施されていた介護実習を含め、実際に車イス体験をしたことは生徒たちにとって得がたい経験となったようだ。車イスの基本的な操作方法はもちろん、実際に外で利用した際には段差や凹凸、急な坂がある道を通る大変さや恐怖など、実際に車イスを用いる実習経験をしたからこそ気がつくことのできた点も多い。

加えて、介護実習では白杖体験も実施。点字ブロックに沿う歩行などは想像以上に苦勞することを生徒たちは理解し、自分が見えるからこそ、見えない人の立場になって考えるべきと再認識した。白杖の種類や利用者との相性、そして何よりも相手の立場に沿ったコミュニケーションの重要性を学んだ。

栗山と福祉での授業を通して、生徒たちは「若者が高齢者特有の苦勞を理解するためにも、両者の交流を増やす必要がある」「ICTによって介護現場が働きやすくなっていることを知り、介護のICT化に興味があった」「その人の視点に立って物事を考えることが大事だと学んだ」などとコメント。これまでの活動による経験から多くの学び



「栗山と福祉」における1年間の学びを公園のバリアフリー化につなげる生徒たちの発表

を得たことがうかがえる。発表会の最後には、栗山町議会議員が栗山公園をより良くしていくための大人目線でのアドバイスを提供。真剣に改善を希望する場合に必要な手順や予算確保についてなど、本格的な指導を受ける貴重な場面もあった。

普通科の栗山高校では、必ずしも卒業後に生徒全員が福祉の仕事に就くとは限らない。しかし、栗山と福祉の中で福祉を学ぶことで「普段から困っている人に声をかけることができる思いやりのある人になること」「どのような仕事に就いても日頃の生活から普通に介護の知識は必要であること」「将来自分や家族に対して関わる際にも必要であること」なども学ぶことができる非常に意義深い授業となっている。同校で学び、成長を遂げた生徒たちがどのような進路を選ぶのか、今後も注目したい。

Data & Fact

北海道全体にインバウンドによる大きな盛り上がり

背景に収益状況が振るわない実態

北海道中小企業団体中央会

北海道中小企業団体中央会（本部・札幌市）は、道内の中小企業・小規模事業者の経営環境や事業の動向を把握するため、地域・業種を勘案の上、総数93人の組合役職員に情報連絡員を委嘱し、月次景況調査を行っている。

令和6年度1月の調査では、前年同月との比較および、昨年末12～1月の推移のどちらにおいても「景況」「売上高」は増加した一方、「収益状況」は減少する結果となった。

「製造業」では原材料・エネルギー価格等の高止まりや価格転嫁の状況から、



売上高・売上個数が増加しても収益は悪化しているとの指摘がなされた。また、人手不足や後継者問題などの課題についても声が寄せられたという。

製造業のうち「食料品」は、昨年末は全道で大半の食品の価格が前年より高騰。原材料、光熱費、物流費、人件費の高騰により売上高・売上個数が増加しても収益は悪化している。

「窯業・土石製品」においては、道央地域で新幹線工事や再開業事業等により一定の需要はあるとし、そのほかの地域では、公共・民間需要の落ち込みから砂利の売上や利益が減少していると指摘した。

「鉄鋼・金属」を見ると、鋳物製品の景況は全道で総じて悪く、自動車向け・建設向けの製品は減少した。しかし、室蘭地域の

国内造船所は昨年に引き続き新造船を受注。船舶を取り巻く環境は良好だとい、令和6年度の業績は計画を大きく上回る見込みで予想される。将来の新造船燃料実用化に向けたアンモニア燃料の輸送船の着工も進み、環境に優しい水素船の研究開発も推進する。

「一般機器」においては、全道で資材価格の上昇に加え、防災用の薬剤がほぼ中国からの輸入に頼っている現状から、輸出規制によりさらなる価格上昇が見込まれるとした。レアメタル等の海外依存度の高い製品の安定供給・輸入の健全化が必要だという。

「非製造業」に目を向けると、冬の観光シーズンで外国人観光客は各地で増加する反面、地元・道内の客足は鈍く、物価高騰から家計に影響する商品が値上

■景況天気図(前年同月比)		(凡例) 30以上 10~29 9~△10 △11~△29 △30以下							
		業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員	
全業種	12月	△20.9	△3.5	△17.4	30.2	△5.8	△2.3	△17.4	
	1月	△14.0	0.0	△22.1	29.1	△7.0	△7.0	△16.3	
	前月比	6.9	3.5	△4.7	△1.1	△1.2	△4.7	1.1	
製造業	12月	△25.0	0.0	△7.0	25.0	3.6	3.6	△7.1	
	1月	△24.1	△10.3	△24.0	20.7	3.4	△10.3	△13.8	
	前月比	0.9	△10.3	△17.0	△4.3	△0.2	△13.9	△6.7	
非製造業	12月	△19.0	△5.2	△22.4	32.8	△10.3	△5.2	△22.4	
	1月	△8.8	5.3	△21.1	33.3	△12.3	△5.3	△17.5	
	前月比	10.2	10.5	1.3	0.5	△2.0	△0.1	4.9	

(資料：北海道中小企業団体中央会「道内景況調査」)

りし、節約志向の高まりで売上は低迷しているとの報告が上がった。

「卸売業」に関しては、道央地域において1月の同組合買付高は仲卸・荷受15億766万3,000円(税抜)で、前月実績額より3億5,242万2,000円ほど減少した。中国の春節など、今後アジアからの観光需要が伸びる印象があるが、2月初旬の大寒波によって生産地の作物が被害を受けており、収益は確保できない懸念があったとした。

「サービス業」では、全道で地質調査関連の受注契約総額が4月からの累計では前年度に比べて10%程度増加するも、前年同月比で数パーセント程度減少し

ている。加えて燃料費、消耗品、材料費が上昇しているため、収益も次第に悪化。さらに金利の上昇により資金繰りにも影響が出始めているとの指摘がなされた。

一方、サービス業における“技術人材”不足を充足する手段としては、自社の定年社員の再雇用だけではなく、他社で定年を迎えた技術系のシニア人材を採用する中小IT企業が全道で増えているとも。今後も豊富な経験や技術スキルを若手の育成に活用するほか、人材不足を補うために、ハローワークや人材紹介会社を通じて定年後の技術系シニア人材を積極採用する中小IT企業が顕著に増加しそうとの見立てを示した。



福島県立 清陵情報 高等学校

未来の社会で主体的に躍動する姿を期待 進路ガイダンスの効用で多様な志望をサポート

昭和 63 年の創設以来、先進的な情報教育を推進してきた福島県立清陵情報高等学校（福島県須賀川市、永山広克校長）。本稿では、福島県立清陵情報高校の特色のほか、3 月 18 日に実施された進路イベント「2 学年校外進路ガイダンス」の様子についてレポートする。

●情報に関する知識・技術を吸収

福島県立清陵情報高校の開校は昭和 63 年 4 月、創立 37 周年を迎える専門高校だ。校訓である「英知」「和」「創造」のもと、須賀川市や郡山市、鏡石町など 3 市 6 町 3 村から構成される福島県・県中地区の職業教育推進校の一角として、情報に関する学びに注力している。また、社会の国際化・高度情報化の進展に主体的に対応することができ



阿武隈川をはじめとする豊かな自然環境に囲まれる

る創造的かつ個性豊かな人材の育成を目指しており、生徒一人ひとりの輝かしい未来を実現するため、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいる。

設置学科は、工業系の「情報電子科」「電子機械科」、商業系の「情報処理科」「情報会計科」の 4 学科。情報電子科では、「ソフトウェア実習」「計測実習」「製作実習」等の実践的な授業を通して、情報技術および電子・通信技術を学ぶ。電子機械科では、工業に関する技術・技能を深めると共に、工業技術者に必要とされる情報活用能力を身につけていく。

情報処理科では、プログ

ラミングを学習しながら、商業に関する専門的な知識を学ぶことができる。

情報会計科では、情報処理や簿記会計の知識・技術を習得することで、高度情報化社会における会計実務全般に対応できる能力を養っている。

各学科は資格・検定の取得・合格にも力を入れており、広く知られる「基本情報技術者」「IT パスポート」をはじめ、工業系の「基礎製図検定」「危険物取扱者」、商業系の「簿記検定」「ビジネス計算実務検定」「ビジネス文書検定」等に挑戦する生徒も少なくない。

●進路ガイダンスで地元企業と交流

年度末直前の 3 月 18 日、福島県立清陵情報高校の 2 年次生 210 人を対象とする「2 学年校外進路ガイダ

ンス」が、ビッグパレットふくしまで開催された。

これは、「3 年次に進級する前に、進路に対する意識をしっかりと持って欲しい」という学年団の意向によって実施されたものだという。ガイダンスでは、各ブースの担当者等による 1 講座 25 分の説明を、生徒が 4 講座分聴講する形式で実施され、会場では熱心に耳を傾ける姿が随所に見受けられた。

進学志望者に向けた「進学ブース」では、福島県・仙台市・東京都などに所在する高等教育機関を中心とする 40 ブースを展開。学部・学科・コース等の情報や学びの内容、資格取得や就職状況、入試に向けて準備することなどが詳らかに紹介された。

一方、民間企業就職希望者・公務員就職希望者に向けた「就職ブース」では、地元企業を中心とする 22 社に加え、自衛隊および福島県警察本部も出展してお



進路ガイダンスを通して自分が実現したい未来への理解を深めていく

り、仕事の内容や必要なスキル、求める人材などについての説明がなされた。

進路ガイダンスに参加した地元企業からは、「具体的な質問が上がり、これから就職するに当たっての意識の高さを感じました」「清陵情報高校では複数の資格を取得している生徒も多く、企業にとってはぜひとも一緒に働きたいと思える人材が多くいらっしゃいました」など、好意的なコメントが寄せられた。

福島県立清陵情報高校で 2 年次を担当している関根宏教諭は、「今回このような会を実施して大変良かったと思います。地元企業のお話を直接聞ける良い機会となりました」と、手応えを語った。



62.4%の企業が賃金改善へ 帝国データバンク仙台支店 「労働力の定着・確保」「従業員の生活を支える」が上位

●企業の 6 割以上が賃金改善見込み

帝国データバンク仙台支店（仙台市）は 3 月 3 日、「2025 年度の賃金動向に関する東北 6 県企業の意識調査」の結果を公表した。これは、令和 7 年 1 月 20 ～ 31 日、1,755 社を対象に調査を実施したもの。有効回

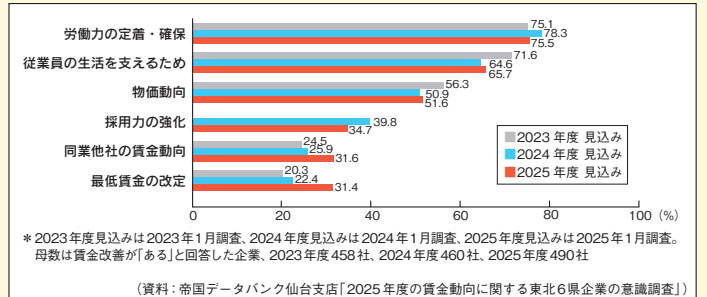
答企業数は 785 社、回答率は 44.7% だった。

2025 年度の賃金動向に関する質問には、ベースアップや賞与、一時金の引き上げによる「賃金改善」が「ある」と見込む企業は 62.4% に上った。この質問で 6 割を超えたのは、調査開始以

降初めてだという。賃金改善の具体的な内容を見ると、「ベースアップ」が 56.7% と 4 年連続で前年を上回った。企業規模別に見ていくと、「大企業」「中小企業」「小規模企業」のすべてにおいて、賃金改善の見込みが「ある」と回答した割合が前年と比較して上昇していることが分かった。

業界別で見ると、「農・林・水産」72.4% でトップ。以下、「製造」69.6%、「卸売」「サービス」59.6%、「運輸・倉庫」58.1% と続いた。

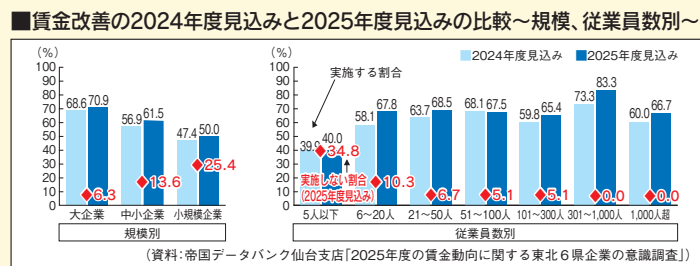
■賃金を改善する理由（複数回答）



●「しない」理由は業績の低迷

賃金改善が「ある」と回答した企業にその理由（複数回答）を尋ねた質問には、「労働力の定着・確保」が 75.5% で最多。「従業員の生活を支えるため」が 65.7% だった。特に注目したいのが「同業他社の賃金動向」が 31.6% と、前年より 5.7 ポイント増加していることだろう。

一方、賃金改善が「ない」と回答した企業にその理由（複数回答）を聞くと、「自社の業績低迷」が 69.3% で最も多かった。続く「物価動向」は 29.7% と、過去最高を記録。以下、「人的投資の増強」15.8%、「同業他社の賃金動向」13.9% などと続き、物価上昇が賃金改善を阻む様子もうかがえるとした。



がんばれ！青森県の高校生
2026 近刊案内
青森県の高校生のみなさんが「進路選択」や「就職」を考える時に役立つ情報が満載!! 就職までのスケジュールや面接・小論文・作文試験対策など、「間違いない進路選択」の実現をサポートします。
▲好評既刊 (2025 年度版)
巻頭特集 先輩たちが語る! 進学・就職成功体験談
最新 高校生を全力で応援 企業インフォメーション
特別収録 求人票 会社見学 チェックシート
お問い合わせ ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

特別養護老人ホーム 見心園
喜んでもらう喜び
●基幹事業 特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス等の運営、在宅介護支援、居宅介護支援
●設立 1988 年 (昭和 63 年)
●従業員数 130 人
●会社の強み・社風
今後より一層必要とされる仕事の一つが介護です。私たちは、利用者の方々に喜んでいただくことを目指しています。明るく楽しく働ける環境を整えており、幅広い年齢の職員が働いています。人生経験豊富なご利用者や職員からさまざまなことを吸収できる職場です。
〒039-1202 青森県三戸郡上町赤保内字道仏道添21-12
TEL 0178-88-3355
URL https://www.kenshin.jp/

東洋ワークセキュリティ髙
安全・安心な社会づくりのプロとして
●基幹事業 警備、総合セキュリティ、建物サービス (管理・清掃)、防犯システム販売
●設立 2009 年 (平成 21 年)
●資本金 40,000,000 円
●従業員数 3,000 人
●会社の強み・社風
東北で安定した経営基盤を作り、技術向上に取り組むと共に、関西地方への事業拡大など積極的なチャレンジをしています。など、警備実務のほか、指導教育や事務管理、営業環境をキーワードに質の高いサービスを提供する意分野で活躍できます。
〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-7-18
TEL 022-225-5068
URL https://www.tw-s.co.jp/

株式会社福田組 東北支店
100 年先も誠実
●基幹事業 土木事業、建築事業、開発事業など
●設立 1927 年 (昭和 2 年)
●資本金 51 億 5,840 万円
●従業員数 861 人
●会社の強み・社風
当社は建設業界において 120 年以上の歴史を誇るゼネコン (ゼネラルコントラクター) であり、技術と信頼に裏打ちされた誠実なモノづくりを大切にしています。常に化する社に最高の価値を提供することを目指します。
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-10-14 TAKAYUパークサイドビル7F
TEL 022-722-1810
URL https://www.fkd.co.jp/

太陽鉱油株式会社
人と人の想いを未来へつなぎます
●基幹事業 エネルギー販売
●設立 1971 年 (昭和 46 年)
●資本金 44,000,000 円
●従業員数 900 人
●会社の強み・社風
当社は物流を支える運送会社に向けた軽油販売をメインに、東日本エリアで直営 61 店舗のネットワークを有し、成長する喜びを感じます。充実した社内教育制度で社員を育てるキャリアアップが描けます。
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-8-1 TT-2ビルディング6F
TEL 03-5641-5215
URL https://www.taiyo-koyu.co.jp/

関東・首都圏

地域に資する学び

K O K O k a r a

群馬県立富岡実業高等学校

「くくり募集」からの適性把握で振り分け

企業理解を促し地域発展に貢献

群馬県立富岡実業高等学校(群馬県富岡市・宮田佳夫校長)は、大正15年に「小幡実業補習学校農学部」として開校後、現校名への改称等を経て、令和8年に創立100年を迎える伝統校だ。進路指導部の鬼形雅史教諭を訪ね、地域連携を中心にお話をうかがった。

●各学科の実践的な学び

群馬県立富岡実業高等学校は、「生物生産科」「地域産業科」「電子機械科」の3学科を設置している。平成27年度からは、学科区分を設けずに一括で生徒を募集する「くくり募集」を実施。1年次の1学期に行われる「ガイダンス科目」で3学科の専門科目を体験的に学び、志望進路や適性に合わせ学科を選択する。

カリキュラム内容は実践的だ。生物生産科は、実際に農作や動物の飼育を行い、次世代型農業生産の知識と技術を学ぶ。農業分野のさまざまな課題に対応できる能力を育成するのが特色の一つだ。



確かな専門性を備えた産業人を育成

地域産業科は、植栽や製菓を通し、食品加工や園芸植物栽培などの知識を身につけ、地域産業の発展と豊かな生活の創造に貢献できる能力を育む。電子機械科は、実習を通して、機械や電気・電子、情報分野の基礎を学ぶ。第二種電気工事士や危険物取扱者乙種第4類など、キャリアデザインに有用な実践的な資格の取得が可能となっている。

●地域連携による多様な構成

富岡実業高校が大切にしているのが、地域連携における学びだ。「春のグリーンフェスタ」「冬のグリーンフェスタ」と呼ばれる校内販売会では、生物生産科と地域産業科の生徒が躍動する。ここでは生徒が育てた花や野菜、製菓を生徒自ら販売も担当し、地域住民から人気を集めている。

電子機械科の「出前授業」では、外部講師として群馬

県トラック協会を招き、物流の重要性や車両の仕組みを学ぶ。校内で行われる「フォークリフト運転技能講習」を受講し、生徒に机上の学習と進路とのつながりの意識づけを図る。

また、同校は、富岡市役所と連携し、2年次生徒が全員参加の企業説明会を開催しつつ、3年次の就職希望生徒に「企業見学会」を行うなど、地元産業界に有為な人材を輩出する。社会問題化している人口減少の波は富岡市にも影響しており、それゆえ「富岡市内にある企業の知名度を上げたい」と、市役所から声がかかったのだという。「生徒に富岡市内にある企業の理解を深めて欲しい」と、進路指導主事の鬼形雅史教諭は語る。

同校では、専門知識を活かせる地元企業への就職や学びを深めることができる専門学校への進学を決める生徒が少なくない。地域に根ざす農業・工業の専門高校として、地域産業の発展に寄与していく。

教育アカデミー 高等部

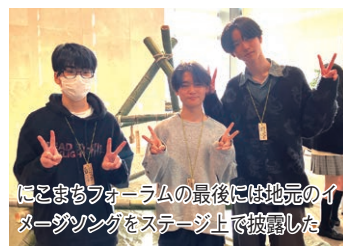
職業体験「KOKOkara」プログラム

学びの中で社会経験を積む

通信制高校のサポート校として15年以上の実績を誇る教育アカデミー高等部(横浜市、石渡一成代表)は、生徒一人ひとりの希望や適性に寄り添ったサポートに定評がある。

同アカデミーの取り組みの一つに「KOKOkara」と呼ばれる職業体験プログラムがある。これは、生徒が高校卒業後の就職先を「自分には合っていなかった」「怒られてばかりで辛い」と、辞めてしまうことが少なくない現状から、社会経験を積んで来たるべき日に備えて欲しいとの趣旨から在学中に社会にふれた体験を行うというもの。プログラムを通して「誰かの役に立つことができた」「みんなで力を合わせたら形になった」と、“働く”ことへの心構えを学び、経験を積むことが狙いだ。

内容は、「就労トレーニング」「就労体験」「インターンシップ」「ボランティア活動」と校内・外を問わず多岐にわたる。令和7年1月、横浜市で行われた「音



にこまちフォーラムの最後には地元のイメージソングをステージ上で披露した

の竹フェス」において、教育アカデミーの横浜青葉キャンパスの生徒が運営ボランティアとして受付や誘導を担当した。過去に経験したボランティア活動が活きたのだろう、その仕事ぶりが、手際の良さを感じさせた。また、2月15日に横浜市西公会堂で開催された「にこまちフォーラム」では、横浜戸塚キャンパスの生徒が着ぐるみ姿で会場を盛り上げた。

教育アカデミー高等部横浜港北事務センターで進路指導主事を務める田中陽子教師は、「最初は教室、次に社会とのつながりの中でできることを一つずつクリアしていきます。その経験を踏まえて、働くことや夢をかなえるために歩み出して欲しいと思います」と、生徒への思いを明かした。

東亜工業株式会社

「自動車」と「住宅」で暮らしを支える

会社情報

- 基幹事業 自動車事業、住宅事業
- 設立 1960年(昭和35年)
- 資本金 3億10万円
- 従業員数 1,225人

会社の強み・社風

東亜工業株式会社は、基幹産業である自動車と住宅のパートナーとして豊かな未来を築き、私たちを取り巻くさまざまな課題に、さまざまなこととに挑戦することが可能

〒373-0847 群馬県太田市西新町126-1

TEL 0276-31-7200

URL https://www.toaweb.co.jp/

株式会社イハシ(イハシグループ)

100年以上の伝統と実績で安心を提供

会社情報

- 基幹事業 セルフガソリンスタンドやレンタカー店の運営、ガス器具の販売、リハビリ型介護施設の運営など
- 設立 1910年(明治43年)
- 資本金 50,000,000円
- 従業員数 1,110人

会社の強み・社風

ライフスタイルの変化に対応する生活関連事業を行うなど、常に未来を見据えて活動しています。数あるため、さまざまな業務にチャレンジすることができま

〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地1-1-2

TEL 048-985-9111

URL https://ihashi-hd.net

東光東芝メーターシステムズ

持続可能な社会の実現に貢献します

会社情報

- 基幹事業 電力・ガス・水道会社、一般産業向け計器の開発、製造および販売
- 設立 2009年(平成21年)
- 資本金 1億円
- 従業員数 279人

会社の強み・社風

私たちは、環境変化の激しいエネルギー市場の中で、信頼の計測技術と先進のIoT技術を融合させた電気メーターの豊富な倉庫拠点を駆使し、消費者物流から社会インフラを支えることができます。

〒349-0101 埼玉県蓮田市大字黒浜3484-1

TEL 048-877-3440

URL https://www.t2ms.co.jp

出光ユニテック株式会社

パッケージの「もと」が製品です

会社情報

- 基幹事業 合成樹脂(プラスチック)加工製品の開発、製造および販売
- 設立 2000年(平成12年)
- 資本金 26億円[出光興産(株)100%]
- 従業員数 467人

会社の強み・社風

スーパーマーケットやコンビニエンスストアに並ぶさまざまな商品のパッケージのもととなる「素材」が我々の製品です。シェアを有します(株式会社。グミキャンディーの社日本経済総合研究センター発行「包装資材シェア」は国内1位の販売ア辞典2023年版より)。

〒108-0014 東京都港区芝4-2-3 NMF芝ビル6F

TEL 03-6865-8840

URL https://www.idemitsu.com/jp/iut/index.html

KYOSAN 京三エレクトロニクス株式会社

チーム力で、一緒に輝く未来を創ろう!

会社情報

- 基幹事業 鉄道および交通の信号設備の設計、施工、検査、保守点検など
- 設立 1962年(昭和37年)
- 資本金 50,000,000円
- 従業員数 371人

会社の強み・社風

鉄道および交通の信号設備の工事施工、現地試験調整・検査・保守点検を行っています。例えば、鉄道踏切の遮断機、駅、交通信号機などを交換・ホームにある非常用ボ 検査・点検します。社会にタン、線路脇の鉄道信号 役立つ仕事を一緒にチャレンジしてみませんか。

〒144-0045 東京都大田区南六郷2-36-20

TEL 03-5744-3111

URL https://www.kyosan-elcs.co.jp

NEX NIPPON EXPRESS 日本通運株式会社

迅速・安全・高品質な物流を提供し、社会の発展を支える

会社情報

- 基幹事業 物流事業全般および関連事業
- 設立 1937年(昭和12年)
- 資本金 701億7,500万円
- 従業員数 34,299人

注目のポイント

長期ビジョン「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現に向け「社員が自ら考え、主体的に行動する自律型人材の育成」をミッションに掲げ、社員能力開発を推進・支援するさまざまな取り組みを

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2

TEL 03-6284-6011

URL https://www.nittsu.co.jp/

日立プラントコンストラクション

「安全・安心な明日をつくる」会社です

会社情報

- 基幹事業 原子力・水力発電設備ならびに変電設備などの施工およびメンテナンス
- 設立 1964年(昭和39年)
- 資本金 30億円
- 従業員数 1,345人(令和6年6月1日現在)

会社の強み・社風

人々が生活する上で欠かせないインフラを建設し、世界中に届けることが私たちの仕事です。充実した福利厚生、安全で安心して暮らせる脱炭素社会を目標に、チームで仕事を

〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-13 ワールドインポートビル

TEL 080-5893-4746

URL https://www.hitachi-plant-construction.co.jp

株式会社東横イン電建

全国を旅して「一緒にホテルをつくらう!」

会社情報

- 基幹事業 建設業(電気工事、配管工事)
- 設立 1990年(平成2年)
- 資本金 1億円
- 従業員数 200人

会社の強み・社風

当社は全国に展開するビジネスホテル「東横INN」のみを専門に建設する会社です。景気が左右されることなく、安定して長く働ける会社です。建設業ですが、携わることが作業しても同一施工、同一仕事は設備工事のため危険 品種が可能な施工システムな作業はありません。常に「ホ とノウハクがあります。

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-7-4 聖徳ビル2F

TEL 03-5480-1045

URL https://www.toyoko-inn-denken.com

キャリア教育の変化に 気づいていますか。

キャリア教育支援協議会

検索

- ミスマッチのない確かな就職
- 高校×企業の協働「高企連携」
- 会員企業募集中

キャリア教育支援協議会

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24

TEL 03-5925-1659 E-mail info@s-kyogikai.com

東海・北陸

キャリアバイト

令和7年3月新卒 内定率100%



有償で就労体験を行う「キャリアバイト」 地域課題研究や起業家教育に結びつける

大正9年開校の富山県中新農業学校をルーツとして、100年以上もの間、進学・就職などの多様な生徒の希望進路の実現を下支えしてきた富山県立上市高等学校（富山県中新川郡上市町、前原五輪雄校長）。教頭を務める菅田純一教諭に、独自のキャリア教育として注目の「キャリアバイト」などを中心に、お話をうかがった。

●総合学科で多様な進路を実現

富山県立上市高校では、2年次から「人文国際分野」「自然科学分野」「グリーン分野」「スポーツ科学分野」「福祉健康分野」「情報ビジネス分野」の6分野に分かれ、生徒それぞれが希望する進路の実現に必要な学力を身につけていく。卒業生の進路先は、4年制大学・



短期大学への進学が20～25%前後、専門学校への進学が35～40%程度、就職が35～40%程度で例年推移しているという。就職者の動向を見ると、相対的に県内企業を志向する生徒が多いのが特徴だ。

●独自の取り組み「キャリアバイト」

富山県立上市高校のキャリア教育の取り組みとして注目したいのが、「インターンシップ」と「キャリアバイト」だ。インターンシップは2年次の7・8月を中心に五日間程度で行われ、修了時には1単位分の増加

単位として認められる。授業の一環という位置づけであり、対価は発生しない。

一方、キャリアバイトは、「キャリア教育」と「アルバイト」を組み合わせた造語であるとし、その名の通り、1～3年次の通年で実施されるアルバイトに似た有償活動のことを意味している。「生徒が自分の適性を考え、将来の早期離職を少しでも解消できるようにしたい」という理念のもと、あくまでもキャリア教育の一環として行われる。行政や地域企業などで構成される「ハッピー上市会」と連携し、令和6年6月29日から本格的に始動した。

具体的には、同校のウェブサイト等を通じて事前に事業者登録を行った企業・

事業所等で、生徒が有償で就労体験を行う。一般的なアルバイトと同様に、履歴書の記入・提出や面接を経て生徒の採用の可否が決定する一方、終了後には生徒本人が報告書を高校に提出する必要がある。このほか、ルールとして、中間考査や期末考査などの試験期間および考査1週間前からのキャリアバイトを不可としているほか、賃金については富山県の最低賃金を基準とすることが明示されている。令和6年度の参加生徒数はのべ32人で、生徒からは「声出しが得意であることが分かった」「レジの責任の重さを感じた」「上市の雰囲気を変えて感じる事ができた」といった感想が上がったという。

キャリアバイトの現時点での課題について、菅田純一教頭は、企業募集に苦慮している現状があると前置きした上で「エリア別では滑



菅田 純一 教頭
*1 滑川地区 富山湾に面し、ホタルイカ観光で知られる。工業都市の顔も持つ。
*2 立山地区 立山町は東西に細長い町で、東は黒部市と長野県大町市に隣接する。

川地区や立山地区を就業場所とする求人が少ないこと、業種別では製造業の求人が少ないことが気になります」と、真情を吐露。インターンシップ先の企業にキャリアバイトへの参画を交渉することも検討中であると、展望を語った。今後は、キャリアバイトで得た学びを上市町の地域課題研究やその先の起業家教育にも広げることが構想していると明かす。富山県立上市高校の意欲的な取り組みに注目が集まる。



職業理解を深める多彩な機会を創出 働く姿を具体的にイメージさせる指導

浜松修学舎高等学校（浜松市、安間元康校長）は、「人格学修・文武両道」を校訓に掲げ、自ら考え判断・行動できる自立した個を目指している。男女共学や学科再編などを経て、建学の精神に則って行われている「社会に有為な人間を育てる」教育活動について、倉島裕貴教諭にお話をうかがった。

●幅広い志望進路に対応

浜松修学舎高校は昭和4年、「浜松女子商業学校」として開校した。男女共学化や名称変更を経て現在の姿となり、現在まで着実に歩を進めてきた。令和6年には創立95周年を迎え、



開校以来、静岡県西部を中心に実社会で即戦力となる人材を数多く輩出してきた。設置するのは、「夢みらい科」「看護科」の2学科。夢みらい科には、「特別進学コース」「進学コース」「ビジネスキャリアコース」の3コースがあり、志望進路に合わせたカリキュラムを編成している。

特別進学コースでは、定期テストに代わって、各教科の単元が終了する際に「単元テスト」を実施する。

進学コースは、対話を中心とする英語の授業やICTを活用した演習を重ねることで、「実用英語技能検定（英検）」2級以上の合格を目標に掲げる。

ビジネスキャリアコースでは、高校生活を「社会に出るための最後の3年間」と位置づけ、パソコン教育や資格取得、ビジネスマナーの学習を通して社会人としての基礎を身につける。

●職業観を培う就業体験

ビジネスキャリアコースの具体的な就職指導を見ていこう。2年次には、9月に5日間のインターンシップを実施している。地元を

中心に多くの企業の支援を受けながら現場で就業体験を積むことで、職業観を醸成する狙いがあるという。

倉島裕貴教諭は「生徒を見ていると、最初は緊張している様子でしたが、企業のみなさまからのていねいで温かいご指導のおかげで、与えられた仕事を次第に円滑に進められるようになりました」と、振り返る。

インターンシップを通して、仕事に対する責任感や働くことの大変さを実感するなど、学校生活では得難い体験ができるようだ。

そのほか、「企業見学」や「マナー講座」、また「履歴書指導」や「面接練習」などを行うことで、社会人基礎力と進路意識の向上につなげている。

このような進路行事や就職対策を通して希望する進

路の実現を果たした卒業生が就職先企業で活躍しているからなのだろう、同校に寄せられた令和6年度指定校求人件数は実に207社・303件にものぼった。

4月から毎週土曜日を中心に3年次生に指導を行った結果、一次募集で不採用となった生徒が一部いたものの、最終的には令和7年2月に内定率100%を達成したという。

倉島教諭は「人手不足によって以前よりも内定が得やすくなっているのではないかと聞いていますが、企業に求められる人材になるには依然高い壁があると言えるでしょう」と、どこか誇らし気だ。

浜松修学舎高校では、今後も生徒の志望進路実現に向けてサポートを続けていく構えだ。

KVK 株式会社KVK

“快適な水まわり”を創造する

●基幹事業 給水栓・給排水金具・継手および配管部材の開発設計・製造・販売

●設立 1949年(昭和24年)

●資本金 28億5,493万円

●従業員数 799人

会社の強み・社風

水栓金具の専門メーカーである当社は、人々の生活に欠かせない蛇口などの水まわり商品を手がけています。住居・施設等の水まわりを、床下から床下までトータルにプロデュースできる体制を整えており、お客様に感動を与える商品を届けることを目指しています。

〒501-3304 岐阜県加茂郡富加町高畑字福荷641

TEL 0574-55-1120

URL https://www.kvk.co.jp/

OTA 太田商事株式会社

1655年(承応4年)創業の老舗企業

●基幹事業 建設資材、エネルギー、外食事業

●設立 1921年(大正10年)

●資本金 48,000,000円

●従業員数 270人

会社の強み・社風

当社は愛知県の西三河を中心にガソリンスタンド・コメダ珈琲を運営し、そのほかにも地域に根差したさまざまな事業を展開しています。ワンループタイプの駐車場付き独身寮や資格取得制度も充実しています。

〒448-0841 愛知県刈谷市南桜町1-73 OTAビル9F

TEL 0566-23-5811

URL http://www.ota-shoji.co.jp/

Om 大森石油株式会社

安心と安全、快適で経済的なカーライフをサポート

●基幹事業 エネルギーソリューション事業、地域のエネルギーインフラに関するすべてのサービスの提供

●設立 1877年(明治10年)

●資本金 36,000,000円

●従業員数 220人

会社の強み・社風

創業から145年続くエネルギー販売会社として、石油製品販売事業、潤滑油事業、そして東海地区有数のサービスステーションネットワークを構築し、自動車に関する安心・安全・快適・経済性を第一に考え、自動車のメンテナンスおよびサービスを提供しています。また、「野球部」「音楽部」の企業文化活動にも注力しています。チームで目標を成し遂げる、自分の役割を理解してチームや地域社会に貢献できる人材が育つ環境があります。

〒491-0824 愛知県一宮市丹陽町九日市場字中田129

TEL 0586-75-7111 (オモリホールディングス 経営管理部)

URL https://www.omori-oil.com

緑 グリーンテック

品質を守る最後の砦

●基幹事業 品質サポート事業

●設立 1996年(平成8年)

●資本金 50,000,000円

●従業員数 3,518人

会社の強み・社風

「品質サポートのリーディングカンパニー」として、日本の「モノづくり」を支えている会社です。「当たり前の安全・品質。研修や教育に力を注ぎ、安心して働ける環境を整えたい」という思いで全国に53拠点を展開し活躍しています。サポートのバックアップも充実しています。

〒460-0003 名古屋市中区錦2-4-15 ORE錦二丁目ビル5F

TEL 052-221-0233

URL https://www.green-t.co.jp

フジパン フジパングループ本社 緑

「本仕込」のフジパンです!

●基幹事業 パン・和洋菓子の製造と販売のほか、物流、パン製造直売店の運営など

●設立 1951年(昭和26年)

●資本金 46億8,200万円

●従業員数 約14,470人

会社の強み・社風

フジパングループでは、製パンのみではなく四つの事業を展開しています。「ホールセール」「リテイリング」「ビジネスを展開する」「デリカ」「ロジスティクス」。グループのお客様のニーズにすべてで多彩な食品をお応えしています。

〒467-8651 名古屋市中区瑞穂区松岡町1-50

TEL 052-831-5152

URL https://www.fujipan.co.jp/company/



ウエル・ユーカン
株式会社

企業や店舗のシンボルである看板製作を通して人々の暮らしに貢献 多彩な研修制度で高校新卒者が現場の最前線で活躍できる環境

昭和48(1973)年に創業し、市中で必ず目にする「看板」の製作を基幹事業としているウエル・ユーカン株式会社(本社・広島市、掛宗智代表取締役)。50年以上の歴史を誇る同社で採用担当を務める総務・経理部の福本桃子氏を訪ね、会社の特徴や求める若手人材像などについてお話をうかがった。

有名企業の看板製作も受注 自社工場を有する「強み」

当社は、みなさんが街中でよく目にする店舗の看板やサイン、店舗内装を手がけている会社です。何気なく歩いていて、偶然見つけたお店の看板を見つけて店内に立ち寄った経験があるという人は決して少なくないと思いますが、そのような看板を製作しているのがウエル・ユーカン株式会社です。

これまでに「UNIQLO」「GU」「TOYOTA」「SoftBank」といった有名企業の店舗看板も請け負った実績があります。

当社は仲介業者を介さず全国の企業から直接仕事を請け負っていること、そして広島県の広島市と廿日市市に二つの自社工場を有していることが強みです。これにより、企画提案から設計、製造、施工、そしてアフターメンテナンスまで自社一括で行うことが可能になっています。

充実する多彩な研修制度 働きやすい職場環境を実現

採用に関しては、看板・



総務・経理部
福本桃子氏

内装の企画提案を行う「営業」職、意匠設計図ならびに構造設計図の作成を行う「設計」職、広島県の自社工場で看板・サイン・家具什器等の製作を行う「製造」職の3種類の職種があり、例年高校新卒者・大学新卒者とも、5～10人程度の採用を行っています。

また、新しく入社したばかりの若手社員が無理なく着実に知識やスキルを身につけられるように「新入社員研修」や「新入社員フォローアップ研修」「資格取得制度」なども充実させています。

「新入社員研修」では、外部で開催されるタイプの社会人マナー研修に参加することに加えて、先輩社員が講師となって当社で働く上で必要となる知識や会社の業務内容、仕事の進め方などの座学研修を行います。

その後、新入社員全員で1週間程度の工場研修を行い、工場で実際の仕事を体験します。仮に、営業や設計といった職種での採用だったとしても、工場の仕事の流れを把握することは今後の業務を進める上でとても重要になるため、新入社員は全員で工場研修を実施するようにしています。

「新入社員フォローアップ研修」に関しては入社から半年後に実施します。総務責任者と面談を行って業務の理解度や悩みごとがな

としての心構えやマナーがしっかり習得できているか再確認します。

そして、「資格取得制度」は、「屋外広告士」などの業務に役立つ資格の取得を会社がバックアップする制度です。上長と共に資格取得計画を立て、資格取得に関する外部の有料講座を会社負担で受講することができます。

また、当社では令和7年度から、年間休日数が124日間となりました。有給休暇の平均取得日数も12日間と高い水準にあり、休む時はしっかりと休み、働く時はしっかりと働くというメリハリのつけられる働き方が魅力だと、評価されることが少なくありません。

新入社員向けの福利厚生も充実しており、入社の際に引っ越しが必要になった場合は、「引越支度金」として10万円を支給したり、「引越費用補助金」としては上限15万円まで支給したりといった支援制度も充実させています。

コミュニケーション能力を重視 意欲あふれる高校生を歓迎

ウエル・ユーカンが求めるのは、「コミュニケーション能力の高い人」です。仕事を進める上では、社外はもちろん、社内におけるコミュニケーションも円滑に行っていく必要があるため、明るく前向きで周囲の先輩社員や同僚たちと協力して仕事を進めていける“人間力”が備わった人材を歓迎しています。

また、応募前に当社のことを十分に理解していただ

入社7年目▶高校新卒社員特別インタビュー

竹本 晴菜さん
(広島県立広島工業高等学校出身)



私は高校を卒業してすぐウエル・ユーカン株式会社に入社し、今年で7年目を迎えました。

入社当初は設計部に配属され、看板の意匠設計や申請業務、構造設計などを3年間行っていました。4年目からは現在の板金部に異動し、板金製造に関する作図に従事しています。

一日のスケジュールに関しては、朝の8時頃に出社し、まずは8時半に行われる朝礼に出席します。その後、自分の担当業務に集中して取り組んでいます。

現在携わっている主な業務はCADを使用した板金製作物の展開作業やデータ製作、製作指示図面の作図、部材の発注手配などです。夕方の6時に定時退社する日もあ

り、納期が近く少し残業する日もあります。

私がこれまでのキャリアの中で最も印象に残っているのは、自分が初めて意匠プランから構造設計まで一貫して携わった壁面看板が実際に設置された場面を見た時です。当時入社したてで初めてのことも多く、苦勞もあった中で無事に設置することができたという大きな達成感を味わうことができ、とても嬉しく思いました。

当社の仕事の最大の魅力は、自分が携わった看板が普段の生活の中で見えるところだと思います。自動車の運転をしている時に見える大きな広告塔や、ショッピングモールで買い物をする時に目印となるピクトサインなど、街中のあらゆる場所に関わったものが存在するため、自分の携わったものを目にした時は達成感がとても高まります。

最近は責任ある仕事を任せられる機会が増えてきました。今後もさまざまな経験を積み重ね、自分をさらにスキルアップさせてステップアップしていきたいと考えています。



心を込めていない一つひとつの作業に取り組む



積極的にコミュニケーションを図りながら日々の業務に全力投入

けるよう高校生のインターンシップや工場見学などを高校の先生経由で随時受け付けています。応募前に実際に会社を訪れ、仕事内容や職場の雰囲気を肌で感じていただくことで、入社後のミスマッチを少なからず防ぐことにもつながると考えておりますので、高校の先生方はお気軽にお問い合わせ

わしてください。

当社では新入社員一人ひとりに先輩社員がついて全力で成長をサポートしていきます。就職希望の高校生のみなさんで「看板製作に興味がある!」「なんかおもしろそうだな」という方は、当社を選択肢の一つとして検討していただけたらとても嬉しく思います。

はるやま商事株式会社

スーツで未来を創る会社

●基幹事業 スーツ・フォーマル・カジュアル・レディースまで幅広い商品の提案

●設立 2017年(平成29年)

●資本金 1億円

●従業員数 1,170人

会社の強み・社風

なりたい姿は「地域に必要とされるお店」! 従業員一人ひとりが「人と話すことが好き」といった自分の「好き」を 従業員の働き方にも積極的に力を入れており、お客様に「楽しい時間」を提供しています。 さらることが出来ます。

〒700-0941 岡山市北区青江1-17-21
TEL 086-941-8680
URL https://www.haruyama.co.jp/

ウエル・ユーカン

シンボル(看板)は、イメージを表す

●基幹事業 看板・LED・ネオンサイン・広告塔などの企画・設計・施工

●設立 1973年(昭和48年)

●資本金 20,000,000円

●従業員数 220人

会社の強み・社風

木、金属、合成樹脂等、無機質な素材から、それに開くすべての人の想いと技が注ぎ込まれ、一企業のシンボルが生まれます。 構築。アフターメンテナンスも充実し、お客様に感動で提案から設計・製作、設置までの一貫生産体制を 企業を目指しています。

〒738-0512 広島市佐伯区湯来町白砂200
TEL 0829-40-5151
URL https://www.welu-kan.co.jp/

進路アドバイザーのための基礎知識 2025年度

「進路アドバイザー検定」公式テキスト

進路や就職に関する各種データを網羅。進路指導の要諦からキャリア教育、進学・就職の現状、各産業における人材育成などについてコンパクトに収録。検定用テキストでありながら、この一冊を活用することで、より具体的・多角的な視点からの進路アドバイスが可能となります。

●通信制高校・不登校・大学入学共通テスト・専門学校・制度改正……など

ご購入はWebにて

●B5判/224ページ

●定価 2,300円(本体2,091円+税10%)

大学新聞社
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1706
URL https://daigakushinbun.com/adviser/

高校生対象添削教材

書いて考える進路

大学進学希望者の試験対策に有効

生徒に身近な題材で、かつ300字という少ない字数から始めることができるため、文章を書くことが苦手な生徒であっても抵抗感なくスタートさせることができます。

*本教材は有料でご案内いたします。添削の有無や字数によって金額が変動するため、高校内での実施を希望する場合はお問い合わせください。

ライセンサアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1706

早い時期から「将来」と「キャリア」を考える!!

アプローチマガジン

2025 好評既刊

高校卒業後の進路選択は、その後の人生を大きく左右すると言っても過言ではありません。本誌は、大学や短期大学、専門学校等への進学、また民間企業就職や公務員など、イチ早く実社会で働くといったさまざまな選択肢から、高校生一人ひとりが「自分らしい」進路選択ができるように考えて編集された「進路のてびき」です。

ライセンサアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656



宮崎県立
富島
高等学校

生徒の歩幅に合わせたキャリア教育 二日間集中型の活動で進路理解を深める

「自立」「友愛」「創造」を校訓に掲げる宮崎県立富島高等学校（宮崎県日向市、西國原総代校長）。開校以来、有為な人材を数多く輩出し、県内はもとより全国で卒業生がイキイキと活躍している。同校の進路指導部を訪ね、進路指導の特徴や大切にしている部分などについて、進路指導主事・山口充修教諭にお話をうかがった。

●個性を育む三つの学科

富島高校のルーツは、大正5年設立の東臼杵郡立農業学校までさかのぼる。以来これまでに、宮崎県立富高農学校、宮崎県立富高実業学校と数回の改称を経て、昭和23年に現在の校名となった歴史と伝統のある学校だ。

同校では、「商業マネジメント科」「情報ソリューション科」「生活文化科」の三つの学科を設置している。商業マネジメント科では、従来のビジネス・マーケティングに加え、「地域」を念頭に置いた新しい学びに取り組み、地元の商業界の担い手を育成する。情報ソリューション科では、先行きがなかなか見通せない

これからの超高度情報社会に向けて、プログラミング等の技術だけではなく、データを自ら分析・加工することができるスキルの習得を目標とし、開発者と利用者の双方の視点を持った人材の育成を目指す。生活文化科では、日常生活の根幹である「衣・食・住」「保育」「福祉」について多角的に学び、課題解決能力を育み、地域社会に貢献できる人材を育成する。

●「キャリア教育の日」に刮目

富島高校の特色ある進路活動の一つとして、一年間に1回、二日間にわたって開催される「キャリア教育の日」を挙げる事ができるだろう。

キャリア教育の日では、学校内・外で1・2年次の生徒が企業や大学を見学したり、就職に向けて面接礼法指導などを受けたりするなど、さまざまな取り組みを実施している。特に2年次では、「進学組」「就職組の職場体験組」「就職組の学校組」の3コースに分かれて、それぞれ希望する進路に合わせて活動する。

令和6年度は令和7年3月12・13日に行われた。それぞれのコースで、初日は1年次が、事前の希望調査に従い5台のバスに分かれて、企業や大学を見学。2年次の「進学組」は校内学習として、「自分調べ」や「進学ガイダンス」に参加した。「就職組の職場体験組」は職場体験を行い、「就職組の学校組」は就職適性検査や企業説明会に参加したという。

二日目は1年次が、校内

で大学・専門学校等の入試説明を受けたほか、先輩卒業生の講話や国家資格講座、職業理解講座および日向市の企業説明などに参加した。2年次の「進学組」は、バスで大学等を見学した。「就職組の職場体験組」は初日と同様、職場体験を実施。「就職組の学校組」は、就職試験に関する授業や模擬面接会などを行った。

進路指導主事の山口充修教諭は、かつてキャリア教育の日が、実施日数やコース制などでやや迷走気味だった時代を知る人物だ。

ここ4～5年は、実施日を二日間に設定し、生徒が進路について深く考えられる時間を設けているという。また、令和5年度からは、生徒一人ひとりの希望進路の実現に寄り添うために、3コースに細分化した。職場見学については、本気でその業界を志望する生徒に絞ったことで、職場見学に真面目に取り組まない者に対する企業からのクレームなど、トラブルも以前より少なくなった。



山口 充修 教諭

進路指導主事

●生徒と共に教職員も学ぶ

山口教諭は、進路活動を通して、自ら企業見学に赴き、職場の雰囲気や仕事内容を実際に体感することで、生徒により有益なアドバイスのできると話す。親身になって進路指導を行うには生徒だけではなく教員も企業について知ることが大事だというのが持論だ。「目先だけではなく20年後30年後に世の中のために動ける人間になって欲しい」と、山口教諭は、生徒への想いを吐露する。

教育目標に「己の個性を伸ばす自立の心を育て、信頼と協調により友愛を深め、心豊かな生活をめざして創造力を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた人材を育成する」掲げる宮崎県立富島高等学校。今後の進路活動にも注目したい。



九州・沖縄地区の1万1,471社が「倒産リスク」 物価高、人手不足などが直撃 帝国データバンク福岡支店

帝国データバンク福岡支店は3月10日、『九州企業「倒産リスク」分析調査(2024年)』の結果を公表した。九州・沖縄地区における令和6年度の倒産件数は838件で前年の708件を上回った。

今回の調査では、企業が一年以内に倒産する確率を10段階のグレードで表す指標「倒産予測値」をもとに特にリスクが高い企業(グレード8～10)を「高リスク企業」と捉えて分析を行っている。

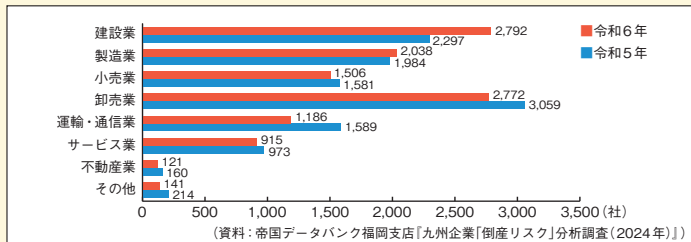
倒産予測値算出対象の九州・沖縄地区17万5,728社のうち、令和6年12月時点で高リスク企業は全体の6.5%にあたる1万1,471社だったことが分かった。令和5年12月時点の1万1,857社と比較すると386社の減少となった。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況下の“ゼロゼロ融資”の影響で令和3年は大きく倒産件数が減少したものの、融資返済や物価高、人手不足などさまざまな環境変化によ

り、3年連続前年を上回る倒産が発生。令和6年は12年ぶりに800件を超え、平成12(2000)年以降で4番目に高い水準となった。また、休廃業・解散をした企業に関しては6,174件(前年比20.2%増)という結果になった。

高リスク企業を業種別で確認していくと、「建設業」が2,792社(同495社増)で最多となった。以下、「卸売業」2,722社(同287社減)、「製造業」2,038社(同54社増)と続いた。

■業種別高リスク企業数



業種を細かく見ると、「飲食店」が37.3%と最も高く、4割に迫った。以下、「皮革・同製品・毛皮製造業」36.7%、「飲食料品小売業」31.9%、「出版・印刷・同関連産業」26.4%と続いた。「出版・印刷・同関連産業」は、近年のペーパーレス化・デジタル化の影響から、4社に1社が高リスク企業となっている。

地区内の都道府県別に高リスク企業の割合を見ると、3%台から14%まで差が見受けられるが、高リスク企業の割合が最も高いのは「大分県」で10.2%という数値が示された。以下、沖縄県9.4%、鹿児島県8.4%と続いた。最も割合が低かったのは4.2%の長崎県で、地区内では唯一5%を下回っていた。

**沖縄県の高校生のための
進路応援BOOK 2025**

沖縄県の高校生に最新の進路情報を！

巻頭特集
沖縄県から未来へ羽ばたこう!!
先輩たちの
進学・就職成功体験談

沖縄県内高校生の
就職事情・採用環境

「沖縄県の仕事」再発見

▲好評既刊(2025年度版)
沖縄県内の高校生の進路事情と共に、沖縄からの進学者を大歓迎する注目の学校や高校新卒就職希望者のスケジュールなどを紹介。希望の進路を実現した先輩からのメッセージなど、沖縄県に在住する高校生のみなさん必読のエリア別進路情報誌です。

お問い合わせ
ライセンシアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

株式会社海星ムサシ

店舗運営のすべてを担う店長を目指せます！

●基幹事業 百貨店・スーパーマーケット内の鮮魚・精肉・惣菜専門店運営
●設立 1994年(平成6年)
●資本金 48,000,000円
●従業員数 560人

会社の強み・社風

当社は、全国的にも珍しい、肉・魚を合わせ持つ専門店舗を運営しています。九州から関東まで広がる販売網。地域に合った食材はもちろん、より一層高い商品価値を創造し続けます。

〒810-0071 福岡市中央区那の津2-1-3
TEL 092-718-7311
URL https://www.kaisei-musashi.com

株式会社マルキョウ

地域のみなさまの食生活を支援しています

●基幹事業 スーパーマーケットの経営
●設立 1964年(昭和39年)
●資本金 59億9,620万円
●従業員数 4,700人

会社の強み・社風

北部九州を中心に83店舗を展開している地域密着型の食品専門スーパーマーケットです。仕入れ、加工、陳列、接客等の店舗業務にすることが主なる仕事で、お客様に喜んでいただくことで地域の食生活を支援しています。独身寮完備(家賃全額会社負担)、18時完全退社、奨学金返還制度もあります。

〒816-0922 福岡県大野城市山田5-3-1
TEL 092-501-8448
URL https://www.marukyo-web.co.jp

YBM 株式会社ワイビーエム

地下と水の技術とともに

●基幹事業 機械の組立加工・塗装・電気配線・製品部品の保守および荷造りと出荷業務
●設立 1967年(昭和42年)
●資本金 1億円
●従業員数 280人

会社の強み・社風

「地下と水の技術で明日の美しい地球環境づくりに貢献する」という方針のもと、建設・土木・鉱山・環境関連の機器を製造している機械メーカーです。誰もが働きやすいと感じる快適な職場環境づくりに取り組んでいます。

〒847-0031 佐賀県唐津市原1534
TEL 0955-77-1126
URL https://www.ybm.jp/

キャリア & 就職支援ジャーナル

第72号

制作・発行 大学新聞社

発行日 令和7年3月31日

発行人 白田 康則

編集人 川 達也

取材・執筆・編集 加藤 陽一 鬼頭 葵 田中めぐみ 川井 仁美 永島のり 島崎 八枝 森田 菜 小笠原 月 小山内 暢子

紙面デザイン&DTP制作 三井 加洋子

*本紙の記事・写真、および図版等の無断転載、複製、複写、翻訳を禁じます。 [V-3330.069525E]

◎大学新聞社 2025 Printed in Japan

●ご意見・ご感想をお寄せください
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
編集 ☎ 03-5925-1668 営業 ☎ 03-5925-1705
E-mail info@daigakushinbun.com
URL https://daigakushinbun.com/

インドネシアの教育トピックス vol.6

国際技術協力と若者間の相互理解が活発に

地理的特性から学際的共同研究も

日本留学フェアに600人超が来場

約1万7,000もの島々からなる世界有数の島嶼国家であるインドネシア共和国。野菜の「じゃがいも」は、1600年頃に現在のジャカルタ市を経由してオランダ人によって日本にもたらされたと伝わり、その名前に歴史のひと幕が垣間見える。本稿ではインドネシアの教育制度や日本の高校生との交流の取り組み等をお伝えすると共に、昨年9月21・22日と本年2月8・9日にインドネシア現地で開催された「日本留学フェア in インドネシア」の様子を報告する。

世界第4位の人口を誇る

インドネシアの教育事情

国際交流基金(本部東京・新宿区)によると、インドネシアの教育制度は小学校6年間、中学校3年間、高等学校3年間の6-3-3制。義務教育期間は7～16歳の9年間となっている。総務省統計局の「世界の統計2024」によれば、2022年の推計人口は約2億7,550万人で、世界第4位に位置している。

国語はインドネシア語で、主な地方語はジャワ語、スンダ語、バリ語などがあ

る。母語は地方語で、インドネシア語を国語として小学校1年次生から学習するケースが大半だという。第一外国語は英語で、前期中等教育(中学校)から必修科目として学ぶ。日本語は、後期中等教育(高校)の選択科目の一つである第二外国語の中で選択する形だ。なお、日本の外務省がインドネシア宗教省の2023年統計から引用したところによると、インドネシアでイスラム教を信仰する人の割合は87%に上る。

インドネシアのスマトラ島沖には、インド・オース

トラリアプレートがユーラシアプレートの下に沈み込む「スンダ海溝」が南北に長く伸びている。地震や火山噴火、津波などの自然災害が多いという点で日本と共通していると見る向きは少なくない。一方、社会的基盤は大きく異なる。実際に、日本では災害からの復旧・復興に関する研究が数多くなされている一方、インドネシアでは災害に関する社会科学的な側面からの研究は考える以上に少ないという。そのため、日本とインドネシアのさまざまな主体による共同研究や、その知見をそれぞれの社会の実態に合わせて活用することが求められている。

日本語学習者数が第2位

支持を集める日本の文芸作品

国際交流基金が23年3月31日に公表した『2021年度海外日本語教育機関調査報告書』によれば、21年度時点のインドネシアの日本語学習者数は71万1,732人。18年度実施の前回調査と比較して2,253人(0.3%)増えて、世界の国・地域別で中国に次いで第2位となった。インドネシアでは、日本語学習者の大部分を高校生が占めているのも特徴の一つだ。以前から、日本の政府開発援助(ODA)等による援助や出資・協力活動など、日本との経済面での結びつきの強さから実利的な目的で学習する者が多かった。近年は日本のアニメーション・マンガ・J-POPを契機として、日本語を学習する若者が多いという。

インドネシア現地では、小説家・村田沙耶香氏の『コンビニ人間』や湊かなえ氏の小説『母性』、柏葉幸子氏の児童文学『帰命寺横丁の夏』など、日本人作家の作品が多く翻訳されている。翻訳出版を支援する国際交流基金が主催する「マカッサル国際作家フェスティバル」は、毎年5月にマカッサル市で開催されるもので、大きな盛り上がり

2025.2/8・9 日本留学フェア in インドネシア



ボゴール市に在住する高校生のほか、ベカシ市から足を運んだ者も

実に7年ぶりとなったメダン市内での日本留学フェアの開催

見せている。昨年末12月には、国際交流基金ジャカルタ日本文化センター(インドネシア・ジャカルタ市)が現地中学生・高校生を対象とするブックレビューコンテストをSNSの「Instagram」上で実施。217件もの応募があった。

インドネシアの生徒とオンライン交流

日本からは姫路市の高校生など

インドネシアにおける日本の高校生との交流に関するトピックスとして、兵庫県姫路市が「姫路市グローバル人材育成事業」の一環で本年1月22・29日、2月5・12・26日、3月5日に行った「海外生徒とのオンライン探究学習」を取り上げることができるだろう。これは、インドネシア・ジャカルタ市の高校生と姫路市内に在住・在学する高校生等によるオンライン交流プログラムだ。

初回の1月22日のみ姫路女学院高等学校(兵庫県姫路市)で、オンライン交流会に向けた日本側の参加者による発表準備のための対面勉強会が行われた。1月29日、2月12日、3月5日には、日本とインドネシア双方の高校生によるオンライン交流会が行われ、参加者が原則自宅などからアクセス。お互いの街や文化を紹介し合った。

インドネシア現地の大学が会場

対面型の日本留学フェア開催

進路情報研究センター・ライセンスアカデミー(本

社東京・新宿区)は昨年9月21・22日、本年2月8・9日に、在インドネシア日本国大使館や国際交流基金の後援を得て、インドネシアの日本留学希望者を対象とする「日本留学フェア in インドネシア」を開催した。いずれの会場も参加校ごとにブースを設置し、来場者が時間内に自由に移動できる個別面談形式で実施した。9月21日にジャカルタ国立大学(インドネシア・ジャカルタ市)で開かれたジャカルタ会場の参加者は、617人に上った。同大の学生のほか、近隣の高校生および高校教諭も多く来場した。翌22日にウィディヤタマ大学(インドネシア・バンドン市)で実施されたバンドン会場には366人の来場があった。参加者の多くは高校生で、家族と一緒に訪れた生徒も見受けられた。

本年2月8日にパクアン大学(インドネシア・ボゴール市)で開かれたジャカルタ会場には、312人の人が足を運んだ。パクアン大の学生のほか、ボゴール市周辺の高校生も多く来場。翌9日にハラパン大学(インドネシア・メダン市)で実施されたメダン会場には、203人の参加者が詰めかけた。いずれの会場でも、参加者が入学要件や奨学金制度などについて熱心に質問をする姿が印象的だった。なお、本年10月18日にはバリ会場で、翌19日にはスラバヤ会場で同じく対面形式の日本留学フェアを開催予定だ。

2024.9/21・22 日本留学フェア in インドネシア



ジャカルタ国立大学の会場には、のべ617人の参加者が来場した

参加者からは入学要件や奨学金制度などの質問が多く上がった

